

治安等に関するアンケート結果 (第13回：平成29年1月実施)

- テーマ
「治安等に関するアンケート」
- アンケートの目的
県民の皆様の治安等に関する御意見を伺い、安全に安心して暮らせる鹿児島を創造するための警察活動に役立てるため。
- 実施時期
平成29年1月
- 対象者数
200人
- 回答者数
160人(80.0%)

平成29年3月

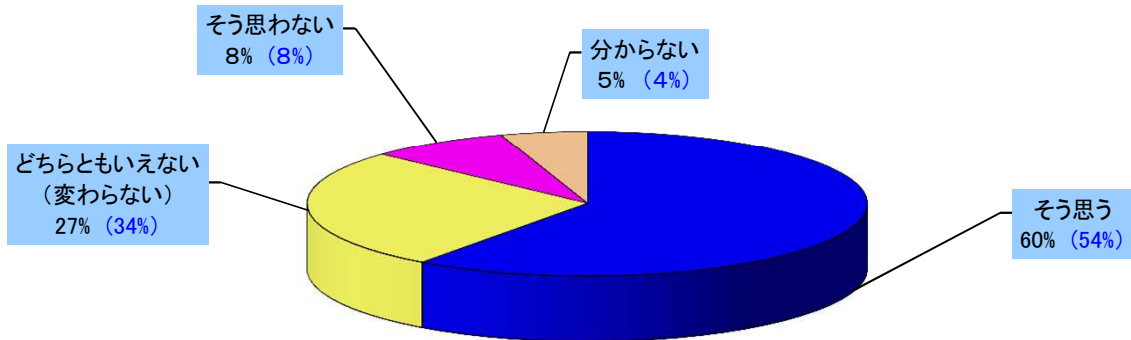
鹿児島県警察本部



1 鹿児島県の治安について

※()は、前回アンケート結果(平成28年1月実施)

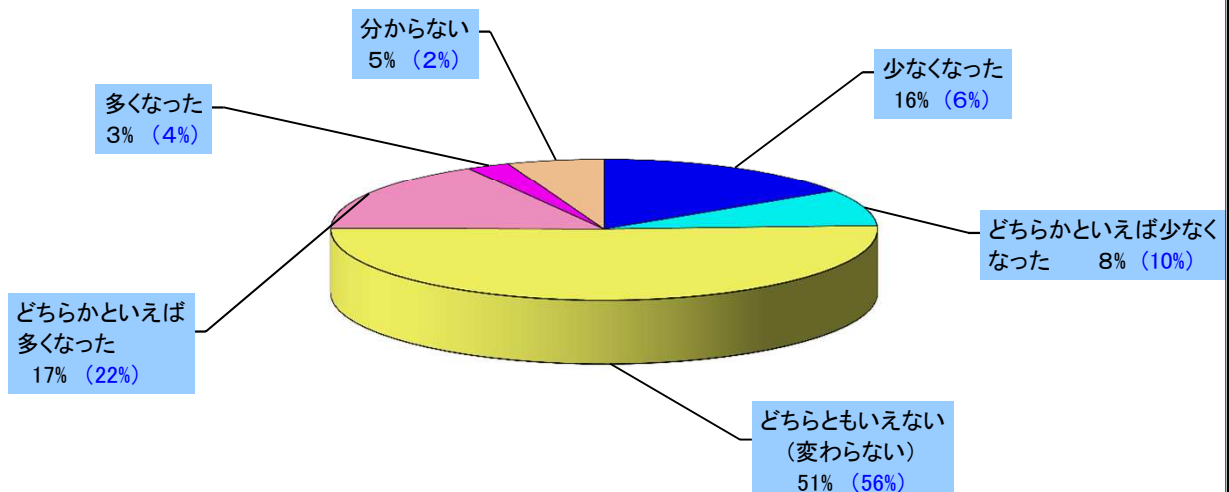
問1 あなたは、現在の鹿児島県が治安が良く、安全で安心して暮らせる県であると思いますか。



「現在の鹿児島県が治安が良く、安全で安心して暮らせる県であると思う」と回答した方は60パーセントであり、前回の調査時より6ポイント増加し、7年連続で半数を超えた。また「どちらともいえない(変わらない)」と回答した方は27パーセントであり、前回の調査時より7ポイント減少した。

一方、「そう思わない」と回答した方は8パーセントと前回の調査と同一であった。

問2 あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になることが少なくなったと思いますか、それとも多くなったと思いますか。

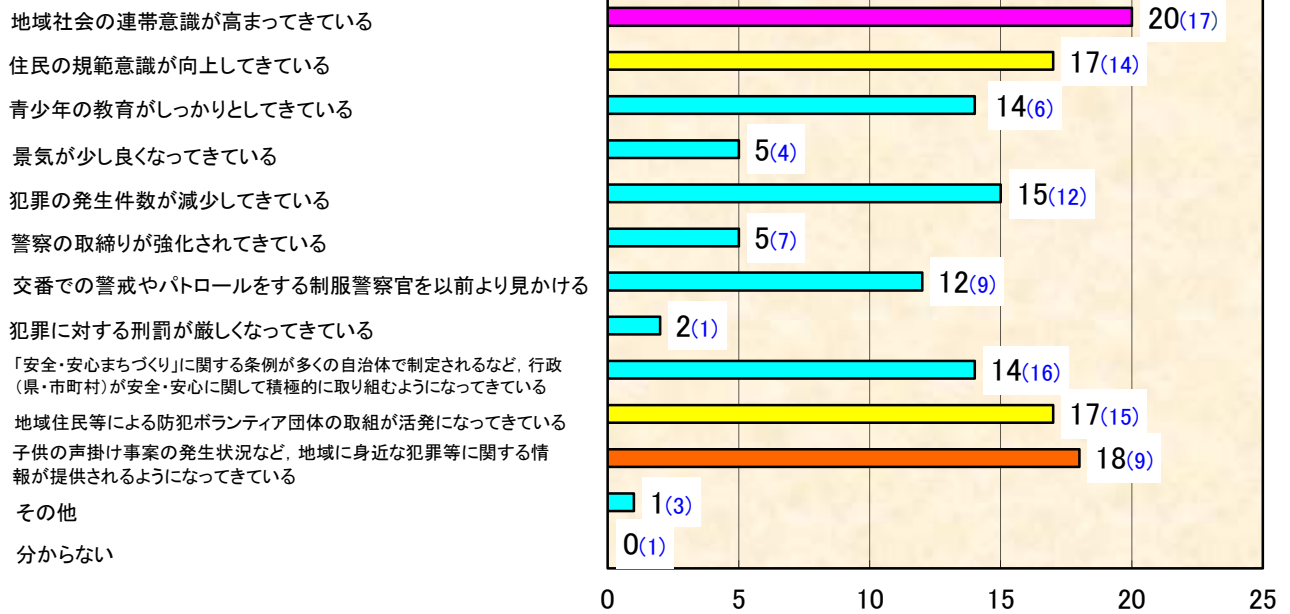


「あなたのお住まいの地域で、ここ1年間で、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答した方は24パーセントであり、前回の調査時より8ポイント増加した。

また、「多くなった」又は「どちらかといえば多くなった」と回答した方は20パーセントであり、前回の調査時より6ポイント減少した。

更問① 不安になることが少なくなった原因は何だと思いますか。(複数回答可)

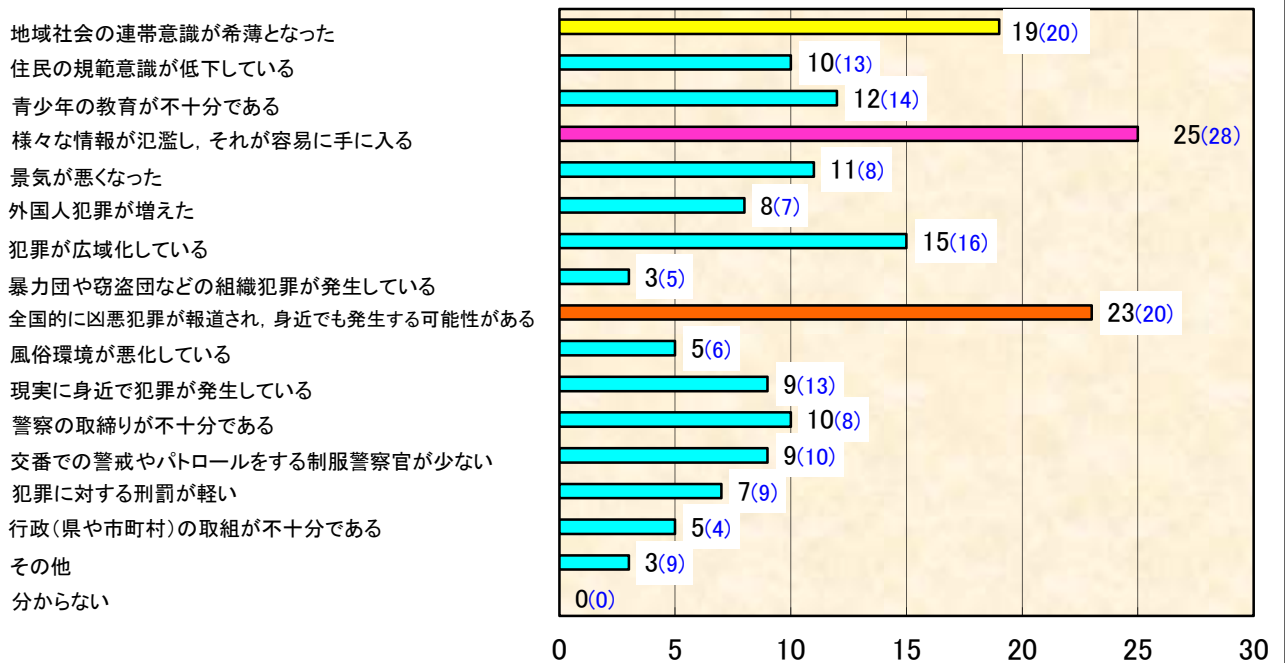
～ 問2で「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答した方への再質問



「ここ1年間で犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「地域社会の連帯意識が高まってきている」、「子供の声掛け事案の発生状況など、地域に身近な犯罪等に関する情報が提供されるようになってきている」、「住民の規範意識が向上してきている」、「地域住民等による防犯ボランティア団体の取組が活発になってきている」の順に回答が多い。

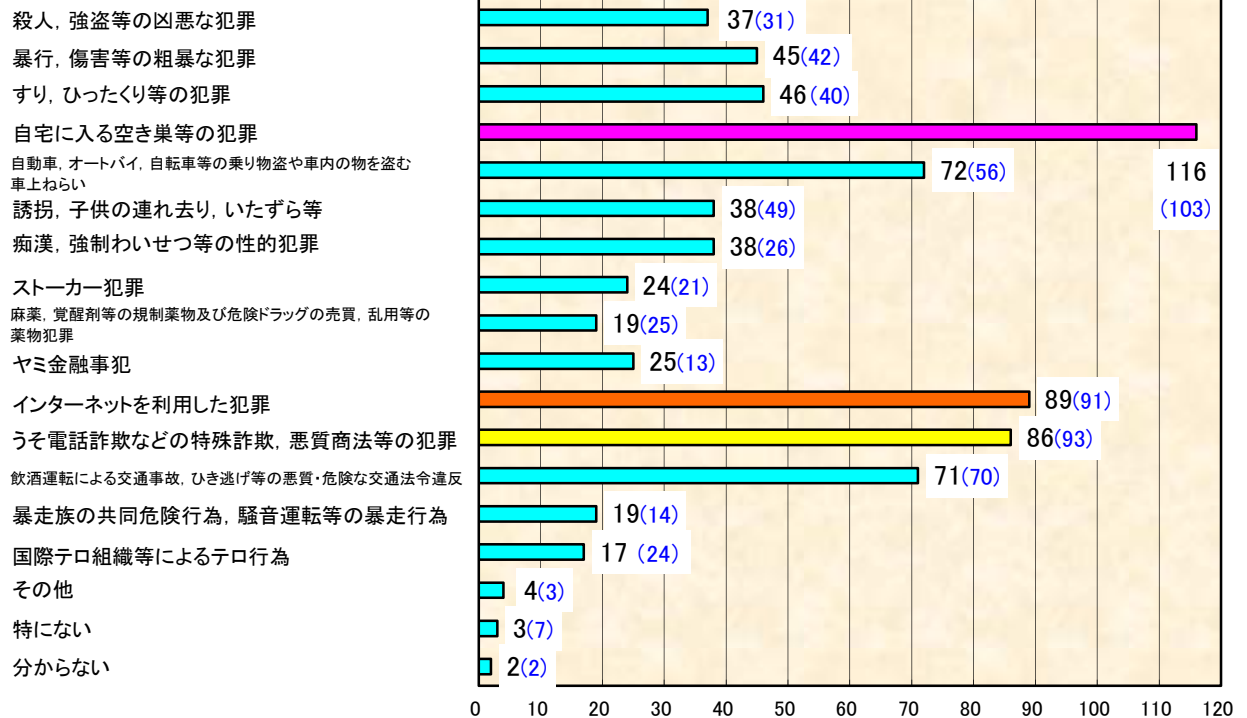
更問② 不安になることが多くなった原因は何だと思いますか。(複数回答可)

～ 問2で「どちらかといえば多くなった」又は「多くなった」と回答した方への再質問



「ここ1年間で犯罪に遭うかもしれないと不安になること」について「どちらかといえば多くなった」又は「多くなった」と回答した方に対して、その理由を質問したところ、「様々な情報が氾濫し、それが容易に手に入る」が最多で、次いで「全国的に凶悪犯罪が報道され、身近でも発生する可能性がある」、「地域社会の連帯意識が希薄となった」の回答が多い。

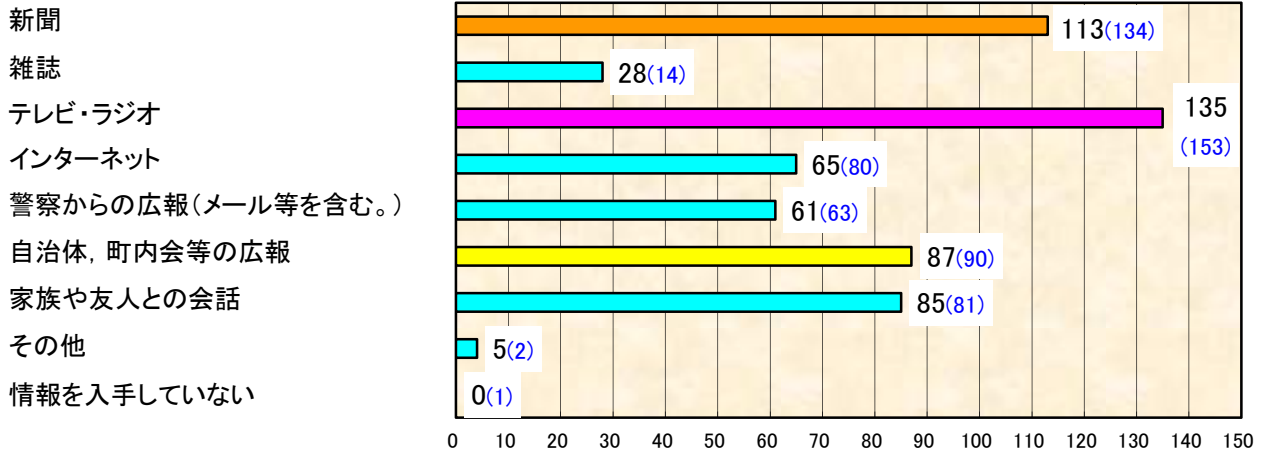
問3 あなたが、自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になる犯罪は何ですか。



自分や身近な人が犯罪に遭うかもしれないと不安になる犯罪について、「自宅に入る空き巣等の犯罪」、「インターネットを利用した犯罪」、「うそ電話詐欺などの特殊詐欺、悪質商法等の犯罪」等と回答している。

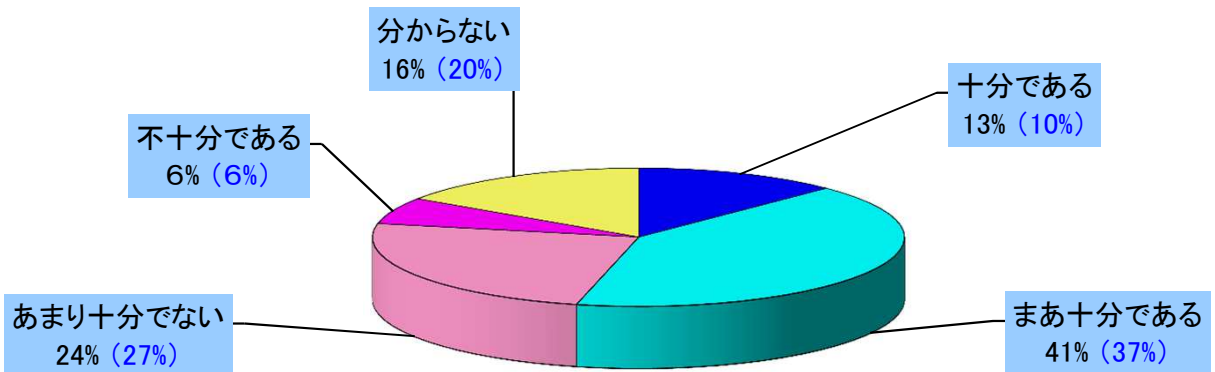
2 治安や犯罪に関する情報について

問4 あなたは、どのような方法で治安や犯罪に関する情報を入手していますか。
(複数回答可)



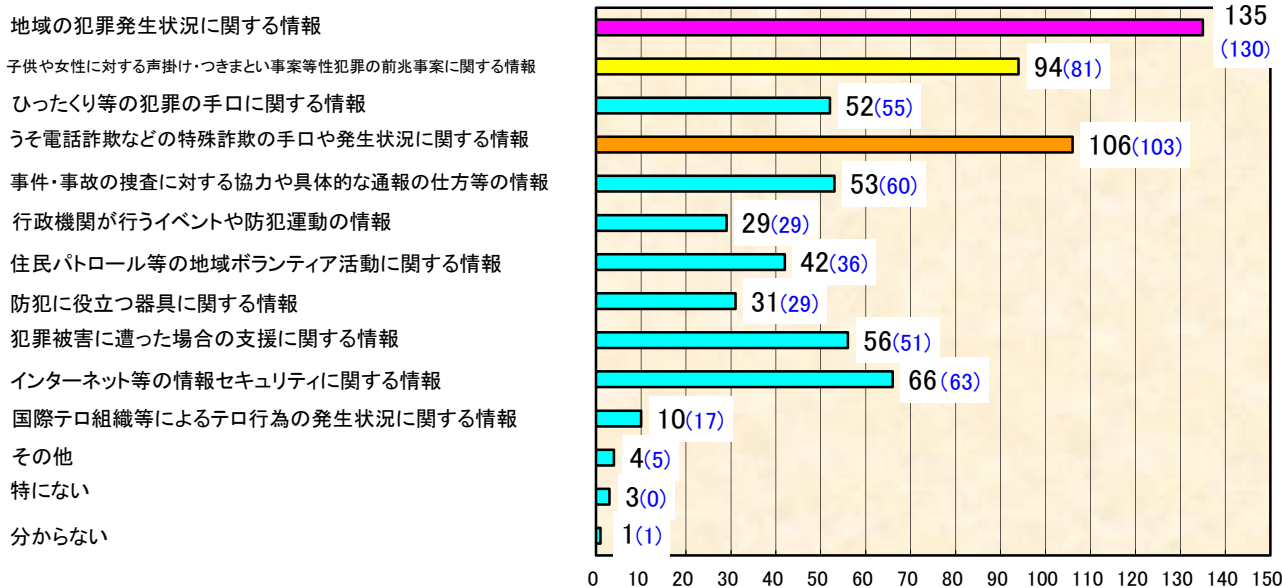
治安や犯罪に関する情報の入手方法については、「テレビ・ラジオ」、「新聞」によると回答した方が多い。

問5 あなたは、警察及び自治体からの治安や犯罪に関する情報提供は十分であると思いますか。



警察や自治体からの治安情報等の提供について、「十分である」又は「まあ十分である」と回答した方は54パーセントで、前回の調査時より7ポイント増加した。また「不十分である」又は「あまり十分でない」と回答した方は30パーセントで、前回の調査時より3ポイント減少している。

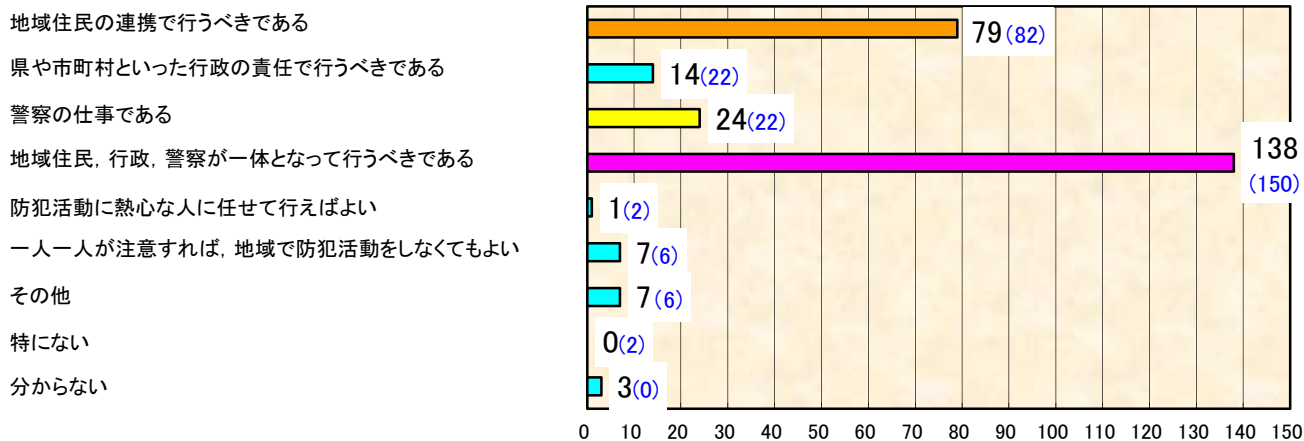
問6 あなたは、治安や犯罪に関する情報として、警察からどのようなものが提供されたら良いと思いますか。(複数回答可)



県民が警察や自治体に提供を求める情報については、「地域の犯罪発生状況に関する情報」という回答が最も多く、次いで「うそ電話詐欺などの特殊詐欺の手口や犯罪発生状況に関する情報」、「子供や女性に対する声掛け・つきまとい事案等性犯罪の前兆事案に関する情報」の順となっている。

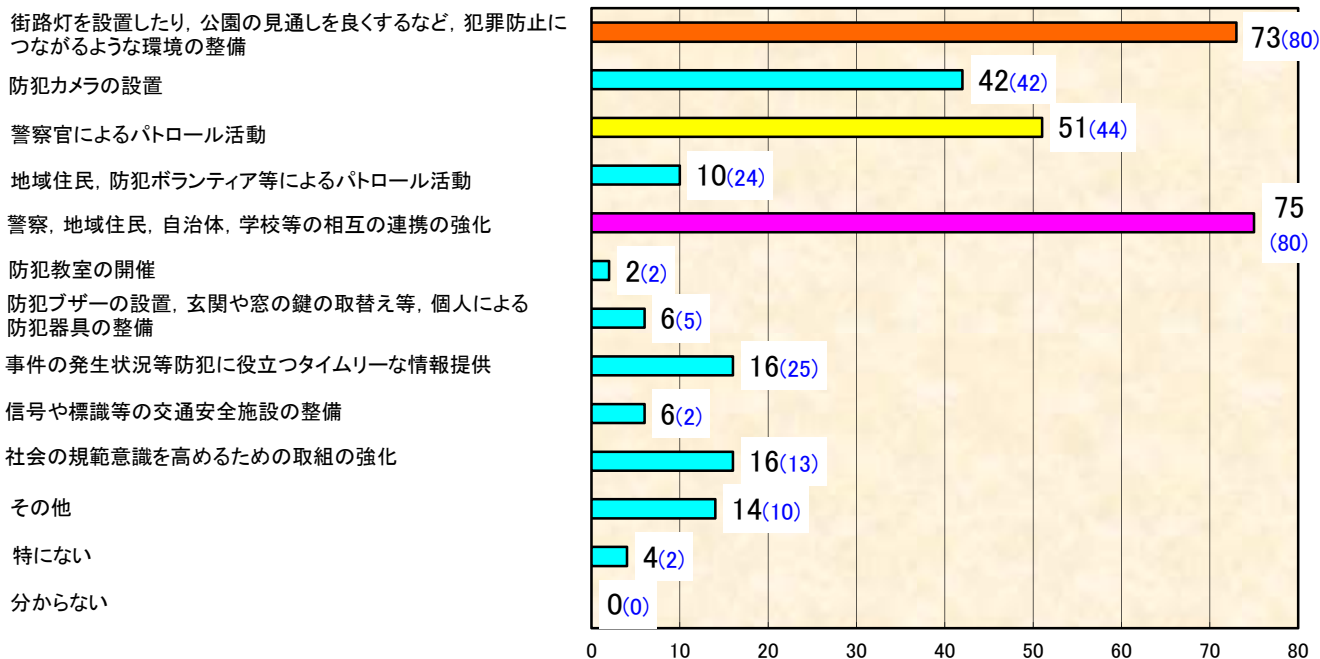
3 犯罪の起きにくい社会づくりについて

問7 犯罪の起きにくい社会づくりを行うために、あなたの考え方に近いものはどれですか。
(二つまで回答可)



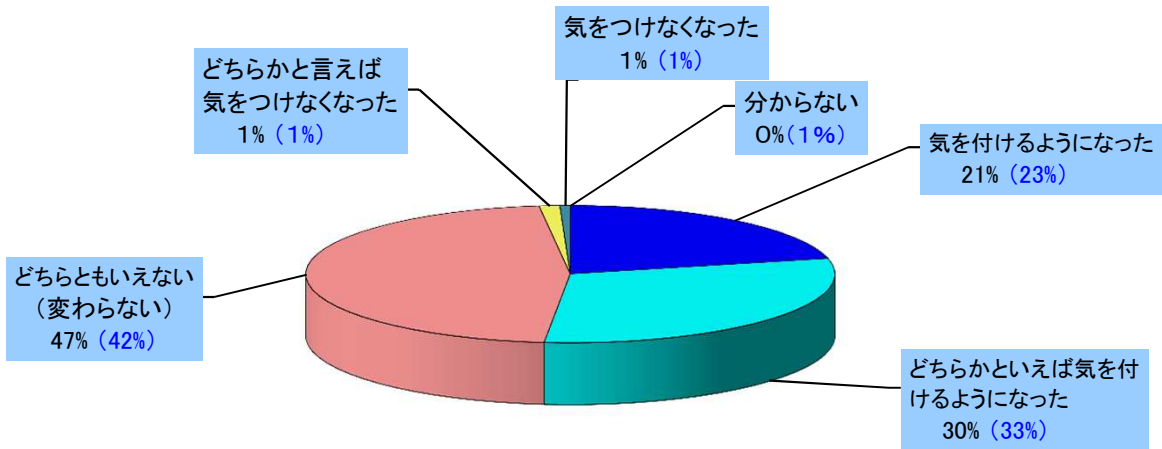
大半の方が「地域住民、行政、警察が一体となって行うべきである」、「地域住民の連携で行うべきである」と回答している。

問8 犯罪の起きにくい社会づくりを実現するためには、どのような取組が必要であると思いますか。(二つまで回答可)



大半の方が「警察、地域住民、自治体、学校等の相互の連携の強化」、「街路灯を設置したり、公園の見通しを良くするなど、犯罪防止につながるような環境の整備」「警察官によるパトロール活動」と回答している。

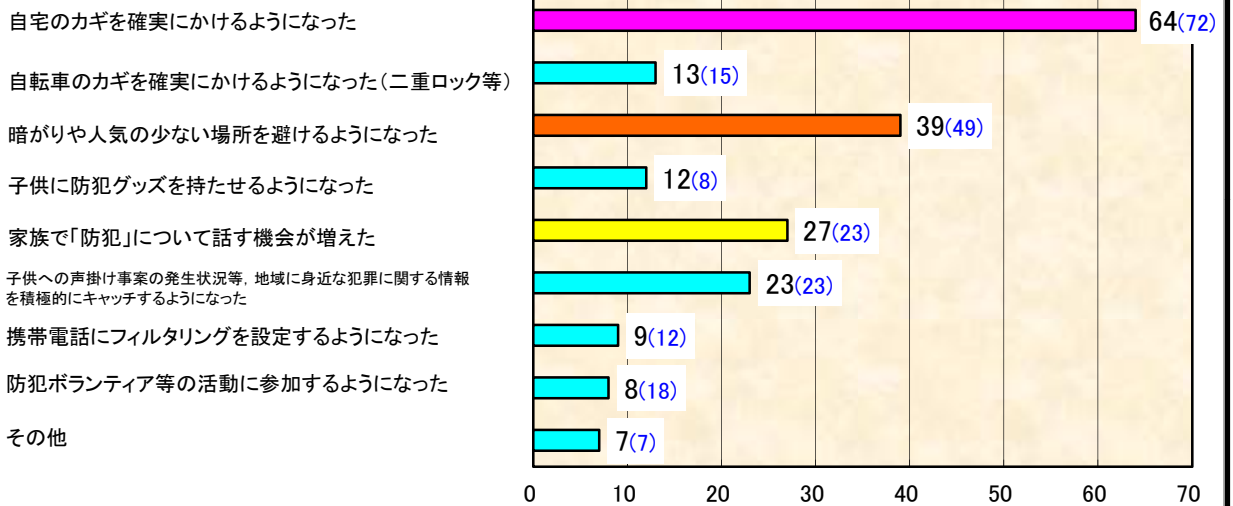
問9 あなたは、ここ1年間で「防犯」ということに気を付けるようになりましたか。



51パーセントの方が、ここ1年間で防犯ということに「気を付けるようになった」又は「どちらかといえば気を付けるようになった」と回答しており、前回調査時より5ポイント減少している。

更問① どのような点に気を付けるようになりましたか。(複数回答可)

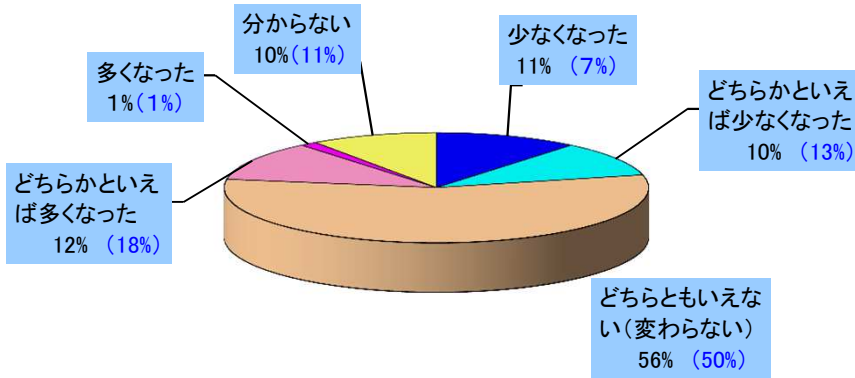
～ 問9で「気を付けるようになった」又は「どちらかといえば気を付けるようになった」と回答した方への再質問



「自宅のカギを確実にかけるようになった」、「暗がりや人気の少ない場所を避けるようになった」、「家族で「防犯」について話す機会が増えた」等の回答が多い。

4 子供の安全対策について

問10 ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子供たちが、犯罪被害に遭うかもしれないと不安になることが少なくなったと思いますか、それとも多くなったと思いますか。

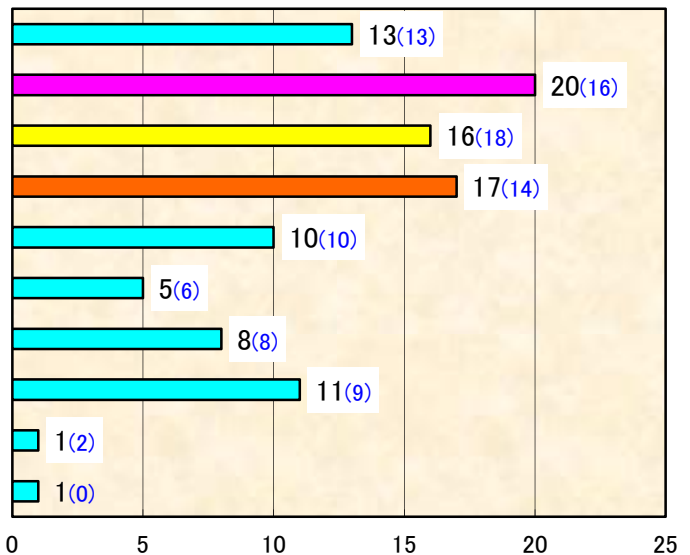


「ここ1年間で、あなたのお住まいの地域の子供たちが、犯罪被害に遭うかもしれないと不安になること」について、「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答した方は21パーセントと、前回の調査時より1ポイント増加し、「多くなった」又は「どちらかといえば多くなった」と回答した方は13パーセントと、前回より6ポイント減少した。

更問① 少なくなった原因は何だと思えますか。(複数回答可)

～ 問10で「少なくなった」又は「どちらかといえば少なくなった」と回答した方への再質問

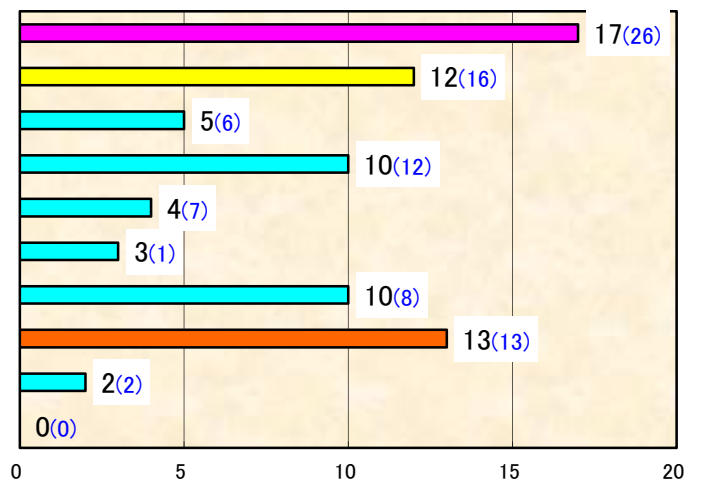
- 登下校時間帯に青色防犯パトロール活動等が活発に行われている
- 地域の子供の安全に対する意識が高まりつつある
- 子供の安全に対する学校や自治体の取組が活発になってきている
- 子供の登下校時間帯の、警察官や交番相談員による通学路のパトロールが強化されている
- 学校や地域で、子供の安全対策に関する防犯教室が開かれている
- 警察から、不審者情報等がタイムリーに提供されている
- スクールサポーターの配置や地域安全マップの作成等子供の安全対策が進んでいる
- 子供たち自身の安全に対する意識が高まってきている
- その他
- 分からない



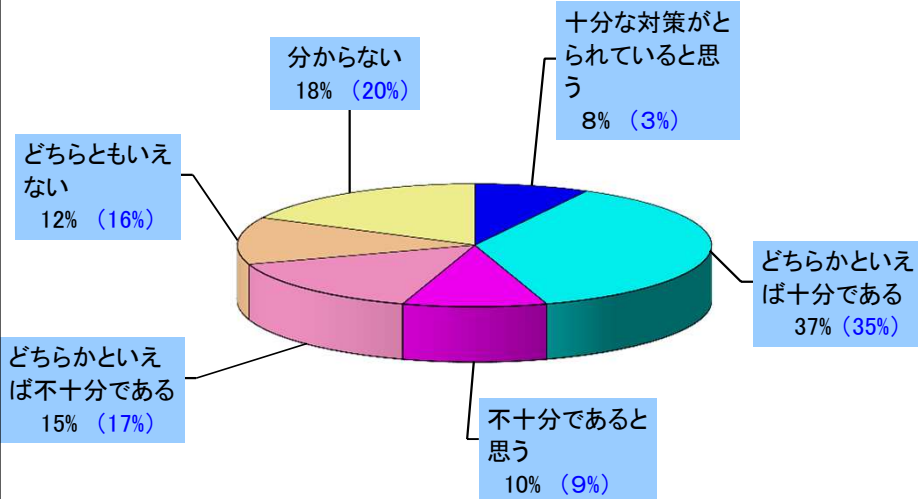
更問② 多くなった原因は何だと思えますか。(複数回答可)

～ 問10で「多くなった」又は「どちらかといえば多くなった」と回答した方への再質問

- テレビや新聞で、子供が巻き込まれる事件がよく取り上げられる
- 地域のつながりが弱く、近所の住民の顔をよく知らない
- 子供が習い事などで遅く帰ることがある
- 子供が一人で登下校することがある
- 近所で子供が巻き込まれた事件・事故が発生した
- 学校や地域で子供の安全対策に関する防犯教室がほとんど開かれていない
- 登下校時間帯に警察官がパトロールしている姿を見かけない
- 子供がインターネット等を利用する機会が増えたから
- その他
- 分からない

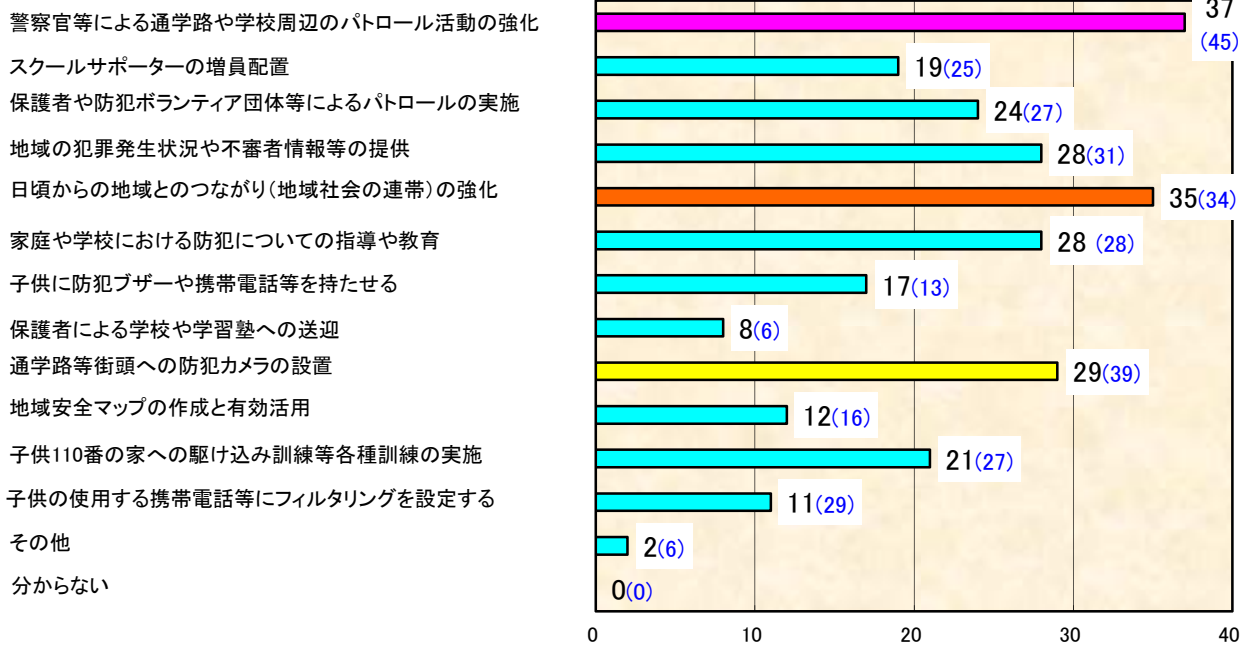


問11 あなたは、子供の安全対策についてどう思いますか。



子どもの安全対策について、「十分な対策がとられていると思う」又は「どちらかといえば十分である」と回答した方が、45パーセントであり、前回の調査時より7ポイント増加し、「不十分である」又は「どちらかといえば不十分である」と回答した方は25パーセントであり、前回の調査時よりも1ポイント減少している。

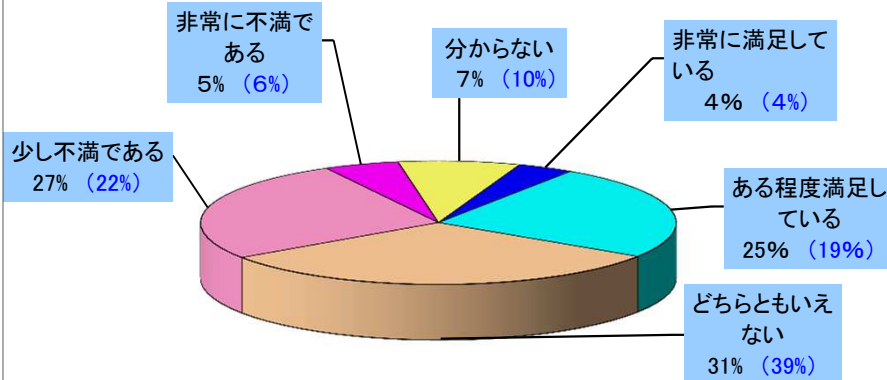
更問① 子供の安全対策には何が必要だと思われますか。(複数回答可)
 ~問11で「不十分であると思う」、「どちらかといえば不十分である」、「どちらともいえない」と回答



多くの方が、子供の安全対策として「警察官等による通学路や学校周辺のパトロール活動の強化」、「日頃からの地域とのつながり(地域社会の連帯)の強化」、「通学路等街頭への防犯カメラの設置」が必要であると回答している。

5 交番・駐在所の活動について

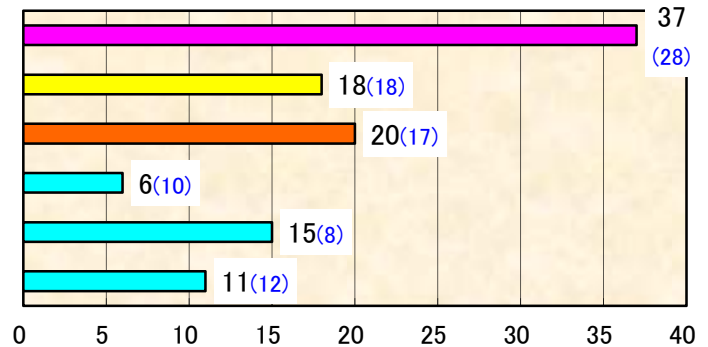
問12 あなたは、近くの交番・駐在所の警察官の活動について、満足していますか。



近くの交番・駐在所の警察官の活動について、「非常に満足している」又は「ある程度満足している」と回答した方が29パーセントで、前回の調査時より6ポイント増加し、「少し不満である」又は「非常に不満である」と回答した方は、32パーセントで、前回の調査時より4ポイント増加している。

更問① 不満である理由は何ですか。(複数回答可)

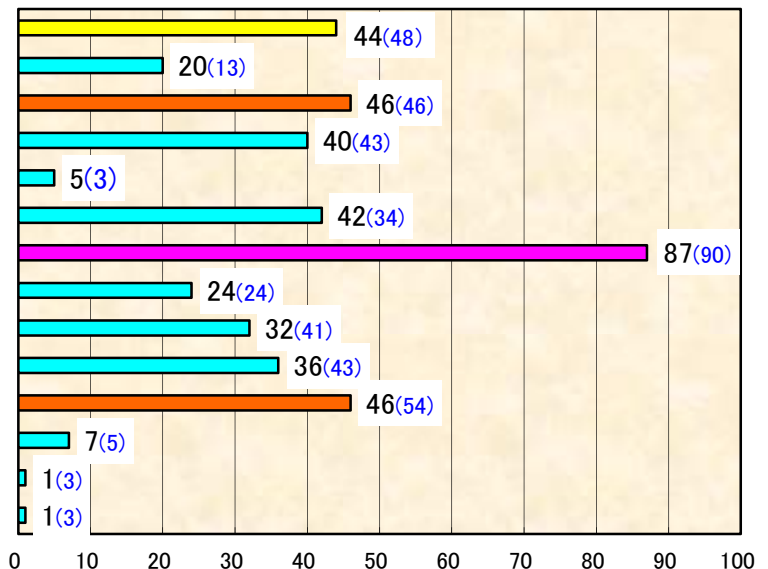
- パトロールしている姿を見ない
- 巡回連絡(家庭訪問)に来ない
- 交番・駐在所が不在になることが多い
- 届出や相談等への対応が不十分である
- どこの交番・駐在所が担当しているのか分からないから
- その他



警察官の活動に対して不満を感じる理由については、「パトロールしている姿を見ない」という回答が最も多い。

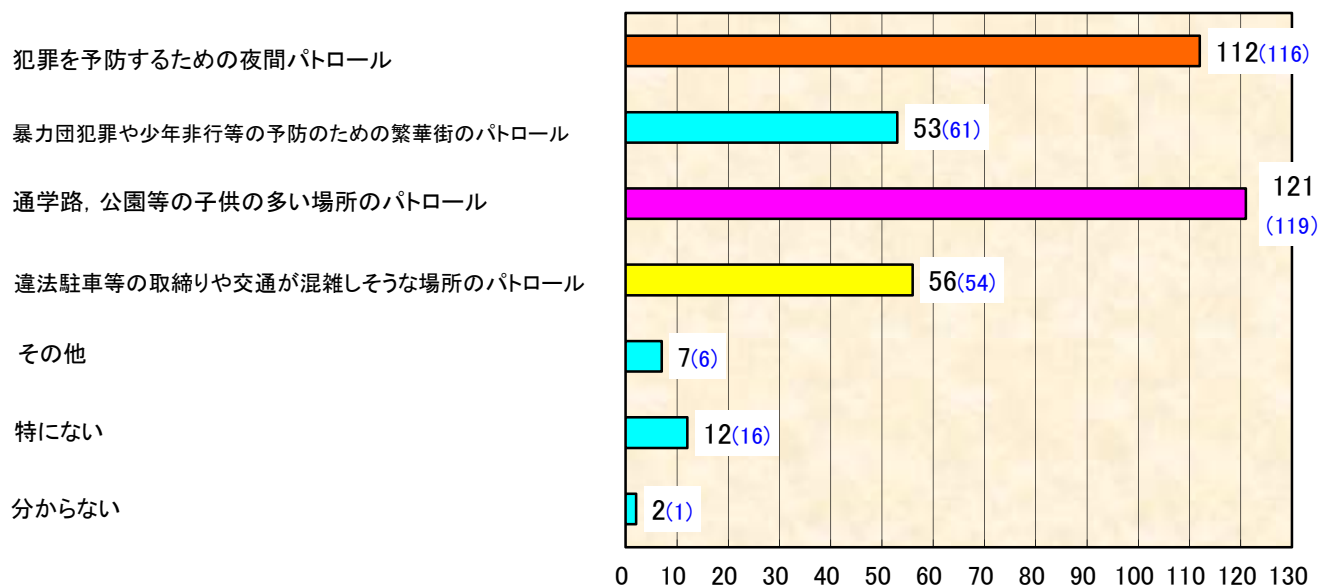
問13 あなたは、今後、交番・駐在所の警察官にどのような活動を特に強化してほしいと思いますか。(三つまで回答可)

- 110番通報に対する素早い対応
- 被害届、遺失物・拾得物の届出への対応
- 身近な犯罪の検挙(犯人の逮捕等)
- 交通違反の取締りや交通安全指導
- 負傷者、行方不明人、酔っばらい等の保護
- 交番・駐在所の活動内容や犯罪の予防等についての情報提供
- パトロール
- 家庭訪問(巡回連絡)
- 住民の困りごと、意見・要望等の聴取、住民に対する助言
- 交番・駐在所における警戒(警察官の常駐)
- 地域の防犯ボランティア等との連携(合同パトロール等)
- その他
- 特にない
- 分からない



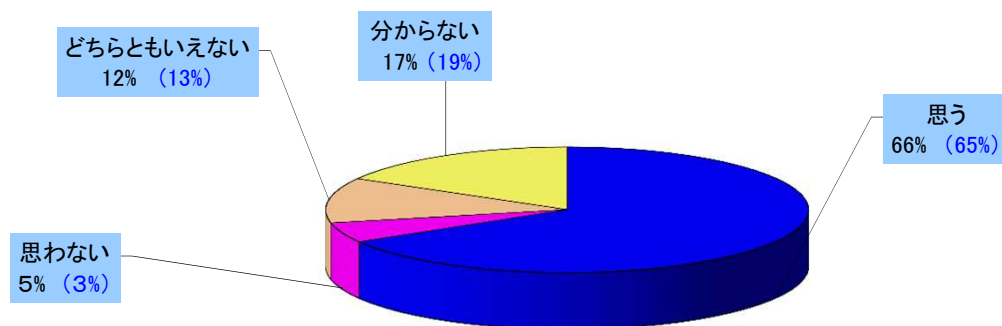
警察官に特に強化してほしい活動については「パトロール」という回答が最も多い。

問14 あなたは、警察官がパトロールを行う際、どのような時間帯や場所を重点的に行えばよいと思いますか。(複数回答可)



警察官がパトロールを行う際の時間帯や場所について、多くの方が「通学路、公園等の子どもの多い場所のパトロール」、「犯罪を予防するための夜間パトロール」と回答している。

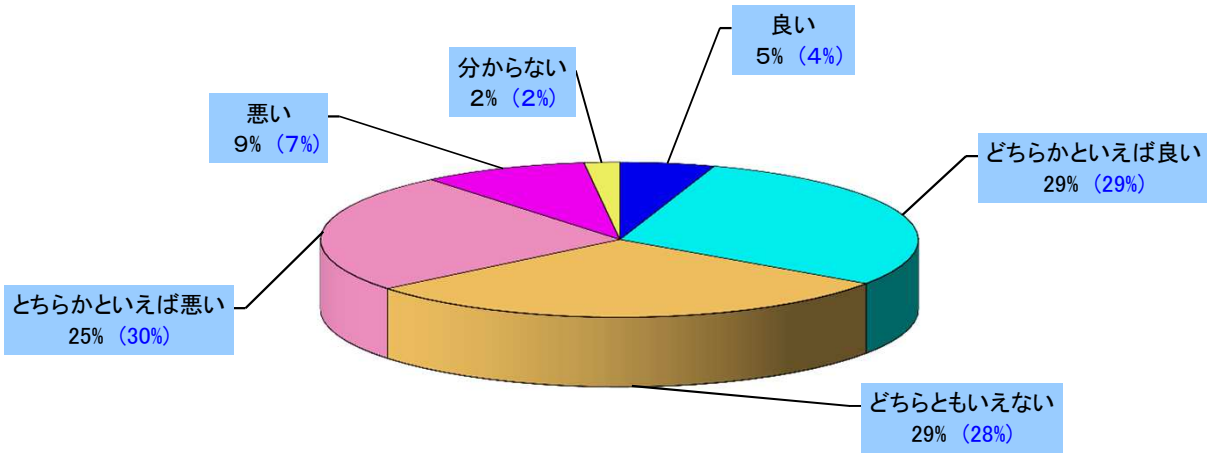
問15 警察官がパトロールなどで交番にいないときでも、交番を訪れた住民に対応することができるように交番相談員を交番に配置しています。あなたは、交番相談員が交番にいることは住民へのサービスにつながっていると思いますか。



6割以上の方が「交番相談員の配置が住民へのサービスにつながっていると思う」と回答している。

6 交通事故抑止対策について

問16 あなたは、鹿児島県内の交通マナーについてどのように感じていますか。

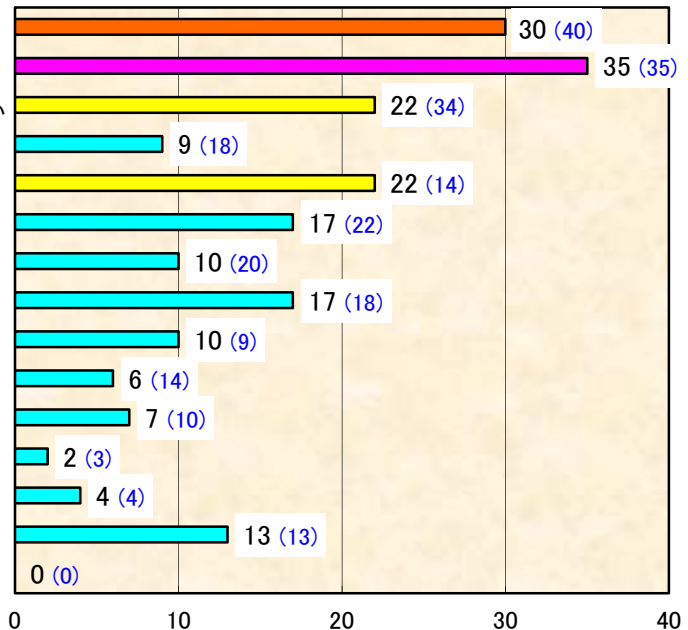


鹿児島県内の交通マナーについて、34パーセントの方が「良い」又は「どちらかといえば良い」と回答しており、34パーセントの方が「悪い」又は「どちらかといえば悪い」と回答している。

更問① そのように感じる理由は何ですか(複数回答可)

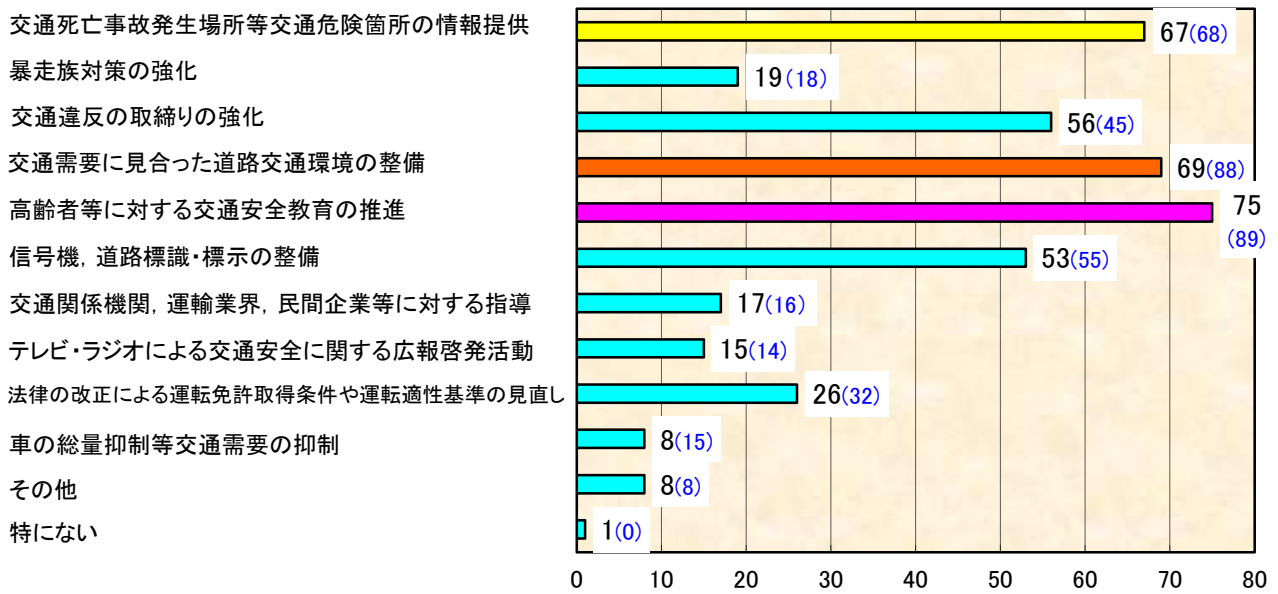
～ 問16で「どちらかといえば悪い」又は「悪い」と回答した方への再質問

- 携帯電話を使用したり、テレビを見ながら運転する自動車が多い
- 右左折の合図をしなかったり、合図が遅い自動車が多い
- 横断歩道以外の場所や歩行者横断禁止の場所で道路を横断する人が多い
- 自動車の信号無視が多い
- 携帯電話を使用したり、ヘッドホン、イヤホン等を使いながら運転する自転車乗りが多い
- 自動車のスピード違反が多い
- 駐車違反が多い
- 交差点や横断歩道で歩行者の横断を妨害する(停止しない)自動車が多い
- 歩行者の通行を妨害する(並進運転、道を譲らない、スピードが速い)
- 自転車の信号無視が多い
- 歩行者の信号無視が多い
- シートベルトをしなくて運転する自動車が多い
- 暴走族が多い
- その他
- 分からない



鹿児島県内の交通マナーについて「悪い」又は「どちらかといえば悪い」と回答した方について、その理由を質問したところ、多くの方が「右左折の合図をしなかったり、合図が遅い自動車が多い」、「携帯電話を使用したり、テレビを見ながら運転する自動車が多い」と回答している。

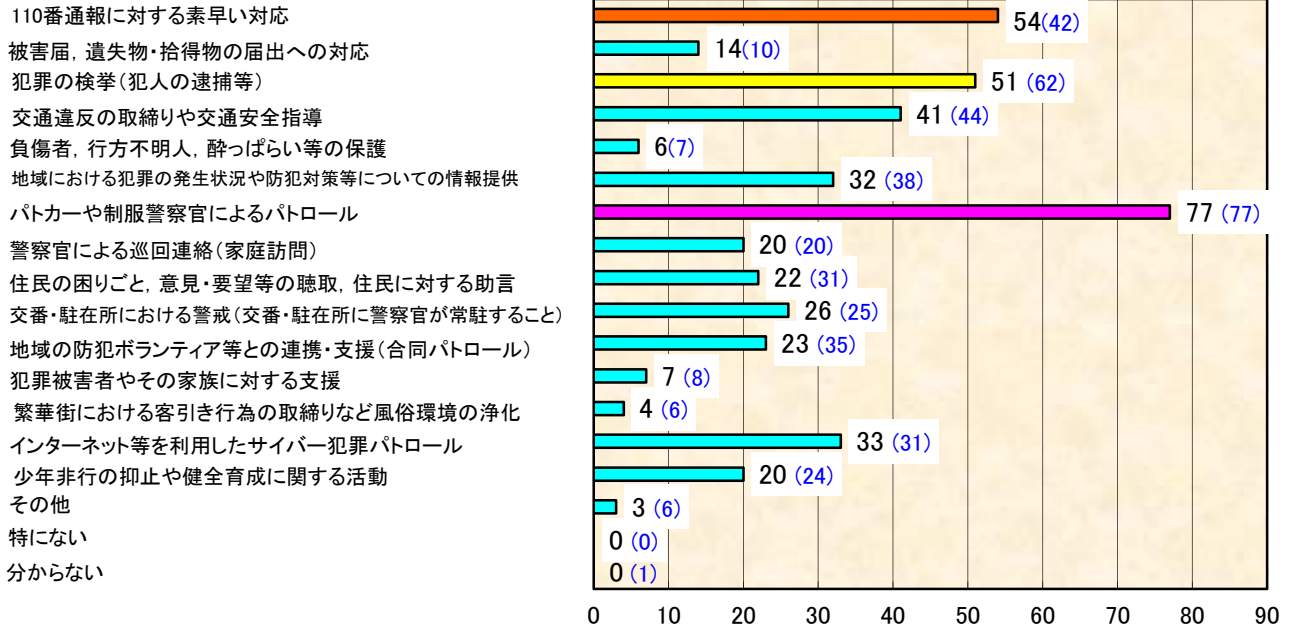
問17 あなたが、交通事故抑止対策として、警察に力を入れてもらいたいことは何ですか。
(三つまで回答可)



交通事故抑止対策として、警察に力を入れてもらいたいことは、「高齢者等に対する交通安全教育の推進」が最も多く、次いで、「交通需要に見合った道路交通環境の整備」, 「交通死亡事故発生場所等交通危険箇所の情報提供」の順に多い。

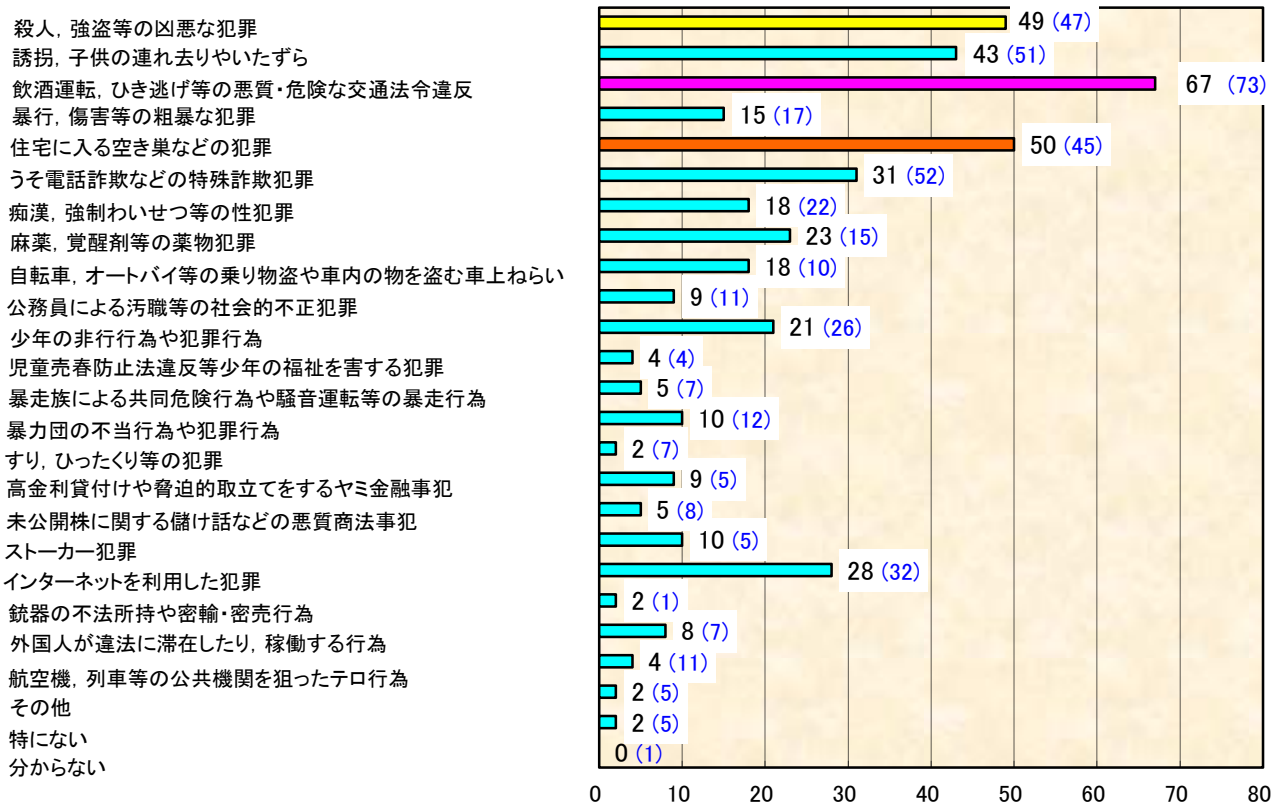
7 警察に対する要望について

問18 あなたは、警察に特に力を入れてほしい活動として、どのようなものを望みますか。
(三つまで回答可)



警察に特に力を入れてほしい活動として望んでいることは、「パトカーや制服警察官によるパトロール」という回答が最も多く、次いで、「110番通報に対する素早い対応」という回答が多い。

問19 あなたが、警察に特に力を入れて取り締まってほしいと思う犯罪は何ですか。
(三つまで回答可)



警察に特に力を入れて取り締まってほしい犯罪については、「飲酒運転、ひき逃げ等の悪質・危険な交通法令違反」が最も多く、次に「住宅に入る空き巣などの犯罪」、「殺人、強盗等の凶悪な犯罪」が多い。